

火災を発見したお手柄小学生に署長感謝状贈呈

東京消防庁小金井消防署

7月30日、当署では東京学芸大学附属小金井小学校4年生の小池真緒さんに消防署長感謝状を贈呈しました。小池真緒さんは、7月24日の10時50分頃に発生した建物火災において、近くを通りかかり、住宅用火災警報器の警報音に気づくとともに、焦げ臭い臭気を感じ、近くの交番へ駆け込んで119番通報を依頼しました。この迅速な判断と行動により、火災は早期に鎮圧されました。

贈呈式で、小池真緒さんは笑顔で「火事を見たのは初めてでしたが、危険を感じたので交番に伝えに行きました。改めて火事は怖いと感じました。」と話していました。



「バイスタンダーの的確な応急手当が「尊い命」を救う!」～消防協力者に感謝状を贈呈～

京丹後市消防本部

市内のショッピングセンターで発生した心肺停止事案に対し、施設従業員の男性2名と、現場に居合わせた女性看護師1名が協力し、即座に胸骨圧迫、AEDによる除細動を実施したところ、心拍が再開し、その後社会復帰へと導びきました。

このバイスタンダーに対し9月3日、人命救助に大きな功労があったとして、感謝状の贈呈を行いました。

現場となった施設は、円滑な救急活動や救命率向上に積極的な「救マーク表示事業所」の認定を受けており、応急手当の普及・啓発への取り組みが結実しました。



消防通信 望楼 ぼうろう

救命の連鎖が功を奏した素晴らしい救助活動!!～人命救助者へ感謝状を贈呈～

茨木市消防本部

茨木市消防本部では、令和元年9月18日(水)、人命救助者3名に対して感謝状を贈呈しました。

令和元年8月19日(月)、茨木市横江二丁目の会社で、心肺停止状態の男性に対して、その場に居合わせた3名が迅速な119番通報及び胸骨圧迫を実施し、救急隊が到着するまでCPRを継続しました。到着した救急隊が除細動を実施し、意識が回復しました。その後、傷病者は、後遺症もなく回復されています。

バイスタンダーの胸骨圧迫、救急隊による除細動の救命の連鎖により、尊い命が救われました。



災害時の大型重機等支援で建設業者4社と協定締結

石垣市消防本部

石垣市消防本部は、令和元年9月27日(金)、市内の建設業者4社と災害時における大型重機等の支援に関する協定を結びました。国内で発生した大規模倉庫や産業廃棄物保管庫などの火災を受け、石垣市でも過去にごみ集積場や産業廃棄物処理場などの火災で、多くの人員と時間を要した事例があります。支援が必要な場合に、消火活動の支障となる障害物の除去や建物外壁開口部の設定などを行います。今後も民間との連携を深め、災害対応力の強化を図り、本市の安全確保に努めます。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】